



学校だより

飛躍

平成22年4月30日

NO. 2 (NO. 69)

狛江市立緑野小学校

<http://www.komae.ed.jp/ele/midorino/>

子どもにとって安心できる居場所

校長 山田 裕

不順な天候が続きましたが、やっと春らしい陽が差し、木々の緑がまぶしく目に映る季節となりました。1年生が入学して一ヶ月が過ぎ、休み時間に校庭で遊んでいる様子を見ていると、もうすっかり緑野小の一員になったようです。子どもたちにとって学校は、のびのびと安心して過ごすところでなくてはなりません。その中で、自分自身を発揮することができるのです。

子どもたちが安心して過ごすことができる学校にしていくために、「あいさつ」をキーワードとして、学校全体で取り組んでいます。

4月当初より、看護当番の先生は昇降口で、私も正門と西門を交互に、登校時の子どもを挨拶で迎えることに努めてきました。挨拶を交わすときの子どもたちの表情には一日の始まりの期待感があります。しかし、元気のない返事や挨拶が返ってこない子どもたちもいます。その多くは、挨拶に慣れていないか、またははずかしさからではないかと思えます。

挨拶はコミュニケーションの一つです。挨拶がごく自然にできることが、コミュニケーション能力の基本であるだけでなく、だれとでも容易に人間関係を築いていくことにつながる重要な生活態度です。挨拶により相手に対して安心感や親近感をもつとともに、自分自身の存在感を感じることもつながり、温かい人間関係が生まれてきます。

ぜひ、ご家庭でも朝夕の声かけに心がけてください。登校時の朝の慌ただしい中でも笑顔で「いってらっしゃい」の一声が、帰宅時に学校での出来事が心配でも笑顔で「おかえりなさい」「ただいま」の声かけが、何といたっても子どもにとって安心できる居場所が家庭であることを感じさせるものだと思います。

本校の子ども一人一人に「あいさつ」が定着できますようご協力をお願いいたします。

4月行事から

6日（火） 始業式 入学式



102名の新しい仲間を迎え、602名の児童で平成22年度がスタートしました。

12日（月） 対面式

16日（金） 一年生を迎える会

20日（火） 遠足（4年） 江ノ島方面



時間前にきちんと集合でき、スケジュール通りに行動できました。あいにくの天候で肌寒い気温でしたが、浜では元気に遊びました。

全国学力・学習状況調査（6年）

30日（金） 消防写生会 離任式

～お世話になった先生方・主事さん方より～

（離任式は4月30日に行われました）

前校長 佐藤 正志 先生

さわやかな新緑の下、子供たちが元気に遊ぶ姿を想像すると、歓声が聞こえてくるようです。運動会、遠足、学芸会、研究授業、いろいろな場面で真剣に取り組む緑野小学校の子供たち。その姿から、元気をもらい続けた四年間でした。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

四月から、教師を目指す大学生を教えています。素晴らしい先生を、たくさんの学校に送り出したいと思っています。

大嶽 純子 先生

緑野小では、四年間お世話になりました。

人と人との出会いは、奇跡と言う話があります。長い歴史の中でこの時代の今に生き、地球のたくさんの国の中でこの国のここに生きて、そして出会うのは奇跡だということです。ちょっと大袈裟な話だなと思っていました。でも今、そうかもしれないと思っています。

これまで出会えたたくさんの子供たち、先生方、皆に感謝です。

渡邊 修子 先生

この度、定年を迎え退職することとなりました。緑野小では五年間、お世話になりましたが、この間、たくさんの素直で明るい子供たちに出会い、いろんな活動ができたこと、また、協力を惜しまず支えてくださった保護者の方々や職場の皆さんに恵まれ、毎日、楽しく仕事できたことに感謝しております。

今後は、皆様のご活躍とご健康、そして緑野小の発展を陰ながらお祈り致しております。長い間、ありがとうございました。

一條 奈美子 先生

緑野小学校の前身、狛江第七小学校で教員をスタートさせていただきました。温かい児童の皆さんと先生方、職員の皆様に恵まれ、振り返ってもいい思い出ばかりです。長い間お休みを頂き、ご迷惑をおかけしました。復帰したかったのですが、それができず残念です。

緑野小の皆さんが健やかに育つことができますよう、陰ながらお祈りしております。たいへんお世話になり、ありがとうございました。